



「OFIX ニュース (OFIX NEWS)」 (第 84 号) (2017.10.15)
(公財)大阪府国際交流財団(OFIX) メールマガジン



目次

【01】 事業報告

平成 29 年度 OFIX 事業の取り組み

★ 平成 29 年度大阪府における災害時の外国人支援体制づくり ★
「平成 29 年度大阪府災害時外国人支援者研修」

■ 第 1 回 8 月 4 日 (金)

■ 第 2 回 8 月 25 日 (金)

★ 平成 29 年度大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業(安藤プログラム) ★

★ 外国人相談事業 ★

■ 「第 1 回大阪府外国人向け行政情報提供窓口
相談員ネットワーク会議」

★ 【開発教育・国際教育セミナー】 ★

■ 2017 年度開発教育・国際教育セミナー入門編

★ 留学生支援 ★

■ 「奈良にぎり墨体験と阿倍野防災センターに行くバスツアー」

■ 大阪府堺留学生会館 オリオン寮寮生間交流会
(たこ焼きパーティー)

【02】 コラム《ようこそ！OFIX へ》

● OFIX 企画推進課企画員 ワーグナー アキム

● 【JICA 大阪デスク】 JICA 関西国際協力推進員
鍋内 郷子

【03】 地方自治体における多文化共生社会実現に向けての取り組みと今後

● 地域の多文化共生に向け、自治体に取り組むべきこと

特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会
代表理事 田村 太郎氏

- 京丹後市との連携による多文化共生推進への取り組み
京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子氏
- 八尾市における多文化共生推進に関する取り組み
八尾市人権文化ふれあい部 文化国際課
課長補佐 川添 浩司氏

【04】 お知らせ

- 外国人のための一日相談会《OFIX 共催事業》
 - ◆堺市・OFIX 共催 「外国人のための無料相談サービス」
 - ◆四條畷市・OFIX 共催 「外国人のための相談会」
 - ◆藤井寺市・OFIX 共催 「外国人のため無料相談会」
- 【立命館大学「Asia Week」にブース出展！
- 【JICA 大阪デスク】
2017 年度 開発教育・国際教育セミナー実践編（第1回）
「学校で、地域で広げる SDGs」参加者募集中！

- ◇ 大阪府外国人情報コーナー
- ◇ バナー広告募集
- ◇ 賛助会員募集
- ◇ 2025 万博 大阪・関西へ

【01】 事業報告

平成 29 年度 OFIX 事業の取り組み

平成 29 年度は、「OFIX 中期経営計画(平成 27-29 年度)」の最終年度であり、目標達成に向けて、OFIX の持つノウハウ、ネットワークなどの資源を活用し、大阪府をはじめとする関係機関と連携し、積極的に事業を推進しています。

前号に引き続き、今号でも、“大阪府における災害時の外国人支援体制づくり”について紹介します。大阪府域で大規模災害が発生した際、外国人の方への円滑な多言語支援を目指し、大阪府域の国際交流協会等が、情報交換や知識共有を図る取り組みです。

その他、8-10月初旬に実施した各事業についても紹介します。

★平成 29 年度大阪府における災害時の外国人支援体制づくり★

「平成 29 年度大阪府災害時外国人支援者研修」

■ 第 1 回

実施日：8月4日(金)

参加者：19名

2回にわたり実施する本研修の1回目は、「災害時外国人支援のための基礎研修-平成27年9月関東・東北豪雨から学ぶ-」をテーマに、開催しました。

前半の講義では、茨城県常総市市民生活部市民協働課課長補佐 篠崎裕之氏を講師にお招きし、関東・東北豪雨における外国人被災者への対応について、お話ししていただきました。

後半のワークショップでは、「今後に向けての課題の整理」をテーマに、(特活)多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事 高木和彦氏を講師にお迎えし、4グループに分かれ、各参加団体が“既にできていること”、“今後取り組まなければならないこと”を整理し、発表しました。

参加者からは、「これからの課題を確認することの大事さを実感した」などの声が聞かれました。

■ 第 2 回

実施日：8月25日(金)

参加者：19名

2回目は、「やさしい日本語」をテーマに、府内の市町村や国際交流協会の職員とともに OFIX 職員も参加し、開催しました。

前半の講義では、講師の「やさしい日本語」有志の会 杉本篤子氏に、災害時の「やさしい日本語」の解説や、「やさしい日本語」への書き換えのポイントについてお話ししていただきました。

後半のワークショップは、「やさしい日本語」への書き換えの実践です。

原文(日本語)の中で、何を最も言いたいのか、そして、どうしても必要な情報とそうでないものを整理してから書き換えに取りかかる、という実際の手順を体験し、ひとつステップアップすることができました。

★ 平成 29 年度大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業(安藤プログラム) ★

今年度で 25 回目となる安藤プログラムでは、アジア 7 か国から建築関連分野を専門とする 8 名の研修生を迎え、現在、研修を実施しています。

9 月 22 日に来阪した研修生は大阪府竹内副知事を表敬訪問し、その後の大阪府研修で、「津波・高潮ステーション」の視察も行い、地震、津波発生時の対応について学びました。

また、府内および淡路島（兵庫県）や直島（香川県）の安藤忠雄氏設計の建築物を訪れ、直接、安藤氏の建築に触れることができました。さらに、近畿大学での建築ワークショップや OFIX ホストファミリー宅でのホームステイをとおして、日本の建築、芸術、文化について理解を深めています。

京都視察や研修の軸となる、(株)大林組、(株)銭高組、(株)竹中工務店、大和ハウス工業(株)での企業研修を経て、10 月 19 日に帰国予定です。

★ 外国人相談事業 ★

■ 「第 1 回大阪府外国人向け行政情報提供窓口 相談員ネットワーク会議」

実施日：9 月 22 日（金）

相談者：15 名

前半の講義では、社会保険労務士の柳田治美氏をお招きし、今年 8 月の年金制度改正を受けて、「年金制度改正と外国人住民」というテーマでお話ししていただきました。

後半の全員参加によるワークショップでは、「相談時の話し方」をテーマに、情報を伝える際の“口調”によって、相談者にどのような印象を与えるかについて意見交換しました。正しい情報を分かりやすく伝えきるために、その場に合った表現を選ぶことがいかに大切かを再確認することができたようです。

★ 開発教育・国際教育セミナー ★

■2017 年度開発教育・国際教育セミナー入門編

実施日：8月4日（金）

参加者：約90名

（独法）国際協力機構関西国際センター（JICA 関西）、
（公財）大阪国際交流センター（i-house）、（公財）大阪府国際交流財団（OFIX）の
共催による本セミナーには、開発教育や国際教育に関心のある教職員や
学生等が参加されました。

OFIX は分科会において、府内小・中、高等学校等向けのプログラム
「OFIX 国際理解教育外国人サポーター派遣事業」について、
「国際理解につながるためのポイント」の紹介や、国際理解教育の模擬授業を
実施しました。参加された教職員の方々の、授業の参考になれば幸いです。

★ 留学生支援 ★

■奈良にぎり墨体験と阿倍野防災センターに行くバスツアー」

実施日：10月9日（月・祝）

参加者：74名

外国人留学生を対象として、『多文化共生をめざす大阪に大切なこと
ー防災をグローバルに考えるー』をテーマに、CARES-Osaka(※)主催の
バスツアーが開催されました。OFIX は、「大阪市立阿倍野防災センター」での
防災体験学習エリアの見学と、「地震発生時の対応」についての講義および
ワークショップを担当しました。

留学生は、防災体験学習エリアでの震度7の地震や初期消火、119番通報等の
リアルな体験にとまどいながらも、併せて講義を受けたことで、防災意識を
より高めることができたようでした。

終始、OFIX 通訳ボランティアの方にご協力をいただき、留学生からは
「実際に地震を体験でき、今後地震が起きても冷静に行動できると思う」
という感想が聞かれたほか、終了後に実施したアンケートの回答からも、
災害・防災知識のより深い理解につながったことがわかりました。

(※) CARES-Osaka⇒<http://www.kansai-u.ac.jp/CARES-Osaka/>

■大阪府堺留学生会館 オリオン寮寮生間交流会（たこ焼きパーティー）

寮生同士が親睦を深めることを目的に、チューターが自主的に企画した寮生間交流会“たこ焼きパーティー”を開催しました。ほとんどの寮生がたこ焼きを焼くのは初めての経験でしたが、美味しく上手に焼くことができました。直径 8.5 センチのメガ級たこ焼きも登場し、とても盛り上がっていました。

自己紹介や連想ゲームなどをおして、初対面の寮生同士もすっかり打ち解け、楽しいひと時を過ごしたようです。

【02】コラム《ようこそ！OFIX へ》

新たに OFIX 事務所で共に働くことになった 2 人の新スタッフからご挨拶

◆OFIX 企画推進課企画員 ワーグナー アキム

こんにちは！

9 月から企画推進課の企画員として勤務しているワーグナー アキムです。

現在は、安藤プログラムに従事しており、今後は、大阪府外国人情報コーナーも担当する予定です。

ドイツ、フランス、オーストラリアに暮らした経験から、国際交流に深い興味を持っています。さらに OFIX での業務をおして、大阪府民の方々の多文化共生推進のために、できるだけ貢献したいと思っています。よろしくお願いします！

◆【JICA 大阪デスク】

JICA 関西国際協力推進員 鍋内 郷子

はじめまして！

この度、JICA 大阪デスク（OFIX 事務所内）に着任した国際協力推進員（大阪府担当）の鍋内郷子（なべうちさとこ）と申します。

私は青年海外協力隊員として、2016 年までの 2 年間、アフリカのセネガル共和国で活動していました。セネガルには冗談好きな明るい人が多く、大阪の方とは気が合いやすいと思います。

JICA 大阪デスクへのお問い合わせ・ご相談はコチラ

⇒ jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp

大阪府には、府民の約 2.5%にあたる約 21.7 万人(平成 28 年末)の外国人の方が暮らしており、増加傾向にあります。

OFIX では、従来より、外国人相談や外国人のための多言語情報の提供を実施しており、近年では災害時の外国人支援体制づくりに注力するなど、多文化共生社会の実現に向けて取り組みを進めています。

今回、(特活)多文化共生マネージャー全国協議会の代表理事として多方面で活躍する田村氏と、地域の多文化共生の推進に積極的に取り組む京丹後市国際交流協会、八尾市の職員の方に寄稿いただきました。

●地域の多文化共生に向け、自治体が取り組むべきこと

特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会
代表理事 田村 太郎氏

総務省が「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、自治体に体系的・計画的な施策の推進を促してから 10 年以上が経過した。多文化共生に関する指針・計画を単独で策定している自治体は 92 (都道府県 17、政令市 8、市 61、区 5、町 1) とまだ少ないが、地域国際化指針や総合計画に多文化共生を含んでいる自治体を併せると 746 となり、自治体全体の 4 割が取り組んでいることとなる。プランの改訂に取り組む自治体もあり、自治体による多文化共生は「施策の立案」から「評価・改善」の段階に移りつつある。

大阪では、総務省プランの以前から、外国人住民との共生に向けた取り組みが盛んだったこともあり、多文化共生を掲げたプランをもつ自治体は少ないが、多言語での情報提供や相談体制の整備、日本語教室への支援などは他地域よりも進んでいる印象がある。一方、外国人住民の増加や多国籍化、外国人観光客の増加など、新しい課題に対応するためには、体系的・計画的に施策を推進していくためのプランが必要であり、今後は大阪でもプランの策定を求めたい。

また永住者資格を持ちながら日本で暮らす外国人は、2000 年代に入ってから全国で毎年 3 万人前後増えており、施策や情報の「担い手」となりうる外国人住民も増えていることに注目したい。支援の対象という側面だけでなく、国籍を超えたパートナーとして、ともに地域の未来を切り開いていこうというメッセージを発することは、自治体にできる最も重要な施策ともいえる。グローバルな視点に立って地域の未来を見据え、これまでの取り組みを超えた新しい「多文化共生」のための施策の具体化を、外国人住民とともに進めることを期待したい。

●京丹後市との連携による多文化共生推進への取り組み

京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子氏

京丹後市は、京都府北部の人口約 56,100 人のまちで、外国人市民は、約 550 人（米軍関係者約 160 人を含む）の外国人散在地域です。

当協会では、平成 24 年度から多文化共生の取り組みを始め、平成 26 年度には「京丹後市多文化共生推進プラン」が策定されるなど、市と協会との両輪で取り組みを進めています。平成 27 年度には「広域多市連携パートナーシップ協定」を関係 2 協会と締結し、平成 28 年度には、「災害時における外国人支援に関する協定」を市と締結するなど、災害時の備えを行っています。

また、市内で活躍する外国人も増えており、小中学校で外国にルーツを持つ子どものサポートを行ったり、PTA 役員を担う方もおられます。これは、単に外国人市民の活躍だけではなく、市民の理解と協力が得られたからだと思っています。

今後も、外国人市民も地域の一員として活躍してもらう場を広げるなど“誰でも住みやすいまちづくり”を目指していきます。

●八尾市における多文化共生推進に関する取り組み

八尾市人権文化ふれあい部 文化国際課 課長補佐 川添 浩司氏

八尾市では、2013 年度に「八尾市多文化共生推進計画」を策定し、“国籍、民族、文化などの違いを尊重し、互いから学びあい、ともに生活できる地域社会の創造”に向けて取り組んでいます。

この実現に向けて、「外国人市民会議」を設置し、外国人市民の意見・提案を直接伺い、市政に反映できるように努めています。

主な事業としては、中国語、ベトナム語、英語の 3 言語による多言語情報誌を毎月発行しています。また、市役所内に相談員（中国語、ベトナム語）を配置し、窓口通訳や総合相談に対応するとともに、外国人集住地域に近いコミュニティセンターにも通訳相談員（中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語）を配置し、身近な生活相談に対応しています。

大規模災害時には、「災害時多言語支援センター」を設置し、（公財）八尾市国際交流センターとの連携により、外国人の被災状況やニーズの把握、災害情報の多言語による発信の準備を進めています。

【04】お知らせ

●外国人のための一日相談会《OFIX 共催事業》※相談無料、秘密厳守

外国人住民の方が身近な場所で相談が受けられるよう、OFIX では市町村等と共催で、一日相談会を実施しています。

◆堺市・OFIX 共催 「外国人のための無料相談サービス」

日時：10月31日（火） 13時30分～17時30分（受付17時まで）

場所：堺市立国際交流プラザ 6階

内容：法律、税金、年金、在留資格、教育、労働、子育て、健康、生活一般
（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、
ベトナム語、フィリピン語、タイ語）

◆四條畷市・OFIX 共催 「外国人のための相談会」

日時：11月10日（金） 17時30分～21時（受付20時15分まで）

場所：四條畷市市民総合センター 3階

内容：在留資格、国民健康保険、年金、労働、人権、教育、生活一般
（英語、中国語、ベトナム語、スペイン語、フィリピン語、タイ語）

◆藤井寺市・OFIX 共催 「外国人のため無料相談会」

日時：11月22日（水） 18時～21時

場所：藤井寺市立市民総合会館本館（パープルホール）4階

内容：在留資格、法律、教育、生活一般
（ベトナム語、中国語、英語、フィリピン語）

●【立命館大学「Asia Week」にブース出展！

OFIX では、立命館大学 大阪いばらきキャンパスで開催される地域と大学の国際交流フェスタ「Asia Week」に、「地域とつながろう！

ーサポートする・サポートを知るー」というテーマでブース出展します。

OFIX ボランティアや国際理解教育外国人サポーター制度の紹介をはじめ、留学生を対象に、相談コーナーも開設します。

なお当日は、JICA 関西も出展しています。

日時：10月22日（日）10時～16時

場所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス（OIC）

フューチャープラザ 1F イベントホール

URL：<http://www.ritsumei.ac.jp/events/detail/?id=442>

●【JICA 大阪デスク】

2017 年度 開発教育・国際教育セミナー実践編（第 1 回）
「学校で、地域で広げる SDGs」参加者募集中！

日時：10 月 29 日（日）10 時 30 分～16 時 30 分
会場：大阪国際交流センター（住所：大阪市天王寺区上本町 8-2-6）
定員：40 名(先着順)
参加費：無料
お申込み・お問合せ先：(公財)大阪国際交流センター
<http://www.ih-osaka.or.jp>
TEL：06-6773-8989 FAX：06-6773-8421

=====

【大阪府外国人情報コーナー】(OFIX 内)

外国人のための無料相談窓口です。
(在留資格、労働、医療、福祉、生活などの相談)

相談時間 9時-17時30分(月-金 ※12/29-1/3、祝日除く)
休憩(12時15分-13時)
専用電話 06-6941-2297
相談言語 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語
スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語
E-mail jouhou-c@ofix.or.jp ※日本語、英語のみ

=====

≫≫ OFIX ホームページ バナー広告募集中！
1 枠 1 か月 10,000 円
⇒ <http://www.ofix.or.jp/banner.html>

≫≫ OFIX の賛助会員になりませんか？
法人 1 口 年額 100,000 円 個人 1 口 年額 3,000 円
⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/support/index.html>

≫≫2025 万博 大阪・関西へ

● 次回 OFIX ニュース(第 85 号)は、平成 30 年 1 月 15 日発行(予定)です

=====

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO(Global E-net Osaka)』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を
紹介するメールマガジンです！
⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★
※国際理解学習の授業(小中高)に国際交流員や留学生等を派遣します
⇒ <http://www.ofix.or.jp/training/education/index.html>
※OFIX ボランティアの登録制度のご紹介
⇒ <http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/system.html>
※ご寄附のお願い
⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/donation.html>

=====

≫≫ OFIX ニュースについてのご意見、ご感想はこちら
⇒ E-mail info@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら
⇒ http://www.ofix.or.jp/info/mail/register_j.html

≫≫ 「OFIX ニュース」印刷版はこちら ※写真入り
⇒ http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/pdf/mail_japanese_no84.pdf

≫≫ バックナンバーはこちら
⇒ <http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/index.html>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

発行：(公財)大阪府国際交流財団(OFIX)
〒540-0029 大阪府中央区本町橋 2-5 マイド-ムおおさか 5 階
TEL 06(6966)2400 FAX 06(6966)2401
<http://www.ofix.or.jp/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆